

本丸御殿で名シーン披露

清正描いた文楽「八陣守護城」

3月に熊本市で上演される加藤清正を描いた文楽「八陣守護城」に出演する、文楽協会(大阪市)の豊竹英大夫さんらが29日、熊本城の本丸御殿でPR公演をした。一行は、清正に縁のある加藤神社や本妙寺も訪れ、公演の成功を願った。

「八陣」は昨年5月、東京・国立劇場で32年ぶりに上演。大道具で使われた御座船を熊本のまちおこし団体が購入したのが縁で、熊本での初公演が決まった。

本丸御殿では、清正役の浄瑠璃語りを務める英大夫さんや人形を操る吉田玉女さんらが、大阪から熊本に

3月本公演をPR

御座船で帰る途中に清正が毒を盛られながらもへさきで高笑いする名シーンを披露した。見物した観光客らは、清正公の人形の迫力に圧倒された様子だった。

英大夫さんは「物語にも出てくる熊本城で文楽ができるなんて、清正公のお引き合わせでしょう」と感慨深げだった。

本公演(実行委員会主催、熊日と熊本放送共催)は3月27日午後2時と7時の2回、県立劇場で。S席6千円、A席5千円、B席3千円。実行委 ☎096(288)4635。

(星原克也)



熊本城本丸御殿であった文楽「八陣守護城」のPR公演で、人形を操る吉田玉女さん